

第 11 回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（西部）

日 時	平成 30 年 2 月 3 日（土）午後 5 時 30 分から午後 7 時 30 分まで
場 所	よませふれあいセンター
参加人数	住民参加者 54 人 議員 13 人 事務局 1 人
地元協力団体	西部協議会・西部公民館
議員役割分担	<p>総括責任者 小渕茂昭 司会進行 小渕茂昭 常任委員会報告者 総務産業常任委員会 望月貞明 社会文教常任委員会 布施谷裕泉 広報常任委員会 小林民夫 議会運営委員会 高山祐一 記 録 者 渡辺正男 出席議員 西 宗亮・望月貞明・高山祐一・高田佳久・徳竹栄子・渡辺正男 児玉信治・小林克彦・山本良一・小渕茂昭・小林民夫・山本光俊 布施谷裕泉</p>
次第(担当者)	<p>1. 開会 司会者 小渕茂昭 2. あいさつ (1) 主催者 町議会議長 西 宗亮 (2) 共催者代表 西部協議会会長 湯本幸夫 3. 報告事項 (1) 議会常任委員会等報告 ①総務産業常任委員会 望月貞明 ②社会文教常任委員会 布施谷裕泉 ③広報常任委員会 小林民夫 ④議会運営委員会 高山祐一 (2) 質 疑 4. 懇談事項 意見交換会 5. 閉会 司会者 小渕茂昭</p>
報告事項の質疑	<p>質問 28 年度決算総務産業常任委員会の意見のなかの、「公衆トイレ、案内看板の整備を引き続き推進すること」とはどういう意味か。</p> <p>回答 外国人観光客が増えてきているが、外国語表示の看板等が不十分であり、きちんとしたトイレも少ない、ということで意見を付けた。</p> <p>質問 総務産業常任委員会の管外視察は民間を 2 か所ということだが、行政にどんな点が参考になるのか。</p> <p>回答 民間と行政の違いが明らかになった。ドットツリーは、移住定住のユニークな取り組み。行政なら補助金をつけて移住を促すのが普通だが、ここは NPO が企画・運営し、補助金はゼロ。入居者はネットを通じて集めている。12 の入居者はすべて異業種、物販は入れないというスタンスである。行政は補助金を出しても企画・運営はできない。補助金が尽きた後地域に根付くかどうか、行政にはノウハウがない。民間の力活用が必要ということを学んだ。今後提案していく。御代田町の農業法人トップリバーは商工中金の「みらいプロジェクト」に受かってそれを進めている。申請には行政の推薦が必要だったが、それ以外は行政を全くあてにせず、自活してや</p>

<p>報告事項の質疑</p>	<p>っている。設立 20 年くらいで現在 16 億円の売り上げ。野菜を売る会社だがそれが本業ではなく、農業をやる若者を育てるのが法人の目的。6 年間給料を払いながら研修させ、独立後の販売の面倒をみるというスタイル。行政では補助金が終わると、それで支援終了という問題意識から今回は民間のみを視察した。</p> <p>質問 「やまのうち Navi」アプリをダウンロードしてみたが、ダウンロード数 100 と少ない。お金をかけても浸透しない、成果が上がらないのでは意味がないのでは。</p> <p>回答 ダウンロード数は非常に不満。担当課には周知を図るよう伝える。</p> <p>質問 空き家が増えてきている。空き家バンクもあるが、行政としてどう対応するのか。</p> <p>回答 取り壊すかどうかは持ち主の考え次第。登録は役場に申し出ればできる。空き家バンクはあくまで仲介のみである。</p>												
<p>議会に取り組んでほしいことの結果</p>	<table border="0"> <tr> <td>① 観光商工振興策</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>② 農林水産業振興策</td> <td><u>21 名</u></td> </tr> <tr> <td>③ 子育て・教育施策</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策</td> <td>14 名</td> </tr> <tr> <td>⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など）</td> <td>11 名</td> </tr> <tr> <td>⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など）</td> <td>1 名</td> </tr> </table>	① 観光商工振興策	2 名	② 農林水産業振興策	<u>21 名</u>	③ 子育て・教育施策	5 名	④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策	14 名	⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など）	11 名	⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など）	1 名
① 観光商工振興策	2 名												
② 農林水産業振興策	<u>21 名</u>												
③ 子育て・教育施策	5 名												
④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策	14 名												
⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など）	11 名												
⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など）	1 名												
<p>意見交換会での質問と回答</p>	<p>質問 旧北小の職員棟の雪囲いが 13.5m にわたり設置されていない。雪寄せは委託業者にしてもらっていたが、今年は現在のところない。対応をお願いしたい。</p> <p>回答 体育館は教育委員会所管で、校舎についても活用方法が決まるまでは教育委員会の管理、その後は総務課の管理。要望はしっかりと伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>後日回答【社会文教常任委員会】 教育委員会に対応要請。2月6・7日で実施済。</p> </div> <p>質問 湯田中の見崎屋さんの造りは歴史があり、素晴らしい旅館。町の旅館の歴史の発信施設として残せないか。</p> <p>出生数が減る中で、将来の小学校は西小学校に統合してほしい。過去には 4 小学校合同音楽会や 4 中学校運動会が西小学校で行われ、合同スキー大会も「遠見通し」で行っていたことがある。</p> <p>回答 見崎屋さんについては地域でもそうした要望が強い。直接交渉をしたことがあるが、「放っておいてほしい」「誰にも入ってほしくない」というのが返事だった。今のところ外から写真を撮ってもらうくらいしかできないのが現状である。</p> <p>回答 西小学校に統合小学校をとという要望については、この会場で出たということは伝える。</p> <p>質問 小学校を統合するなら計画通り進めるべき。条件のいいところで勉強するのがいい。いつやるのか。</p>												

意見交換会での
質問と回答

回答 「34年度統合にこだわらない」は教育委員会としての決定。議会には様々な意見がある。

質問 ゆめっこ利用者の声に「2年生以上の子は入らないでほしい」がある。そうすると、年の離れたお子さんをお持ちの親御さんとすれば利用しづらくなってしまい、ゆめっこ離れが心配。そうした親御さんのために、町の施設を室内遊技場として開放してもらえないか。

回答 児童館のような施設は町にない。児童クラブでも、冬季や天候の悪いときに子どもたちが遊ぶ場所の必要性は感じている。担当課に伝え、対応していく。

後日回答【社会文教常任委員会】

小学校就学前のお子さんと保護者の方が一緒に利用し、保護者同士の交流や、情報交換、育児不安を解消する拠点の施設として、平成21年度から開始している。

利用しているお子さんが小さいことから、上に兄、姉がいないおさんは、小学生くらいの大きなお子さんに対して、怖いという気持ちを抱いてしまい、利用しにくくなるということもあったため、あくまでも、子育て支援センターの趣旨も踏まえ、就学前を基本に利用をお願いしていきたいと考えている。（健康福祉課）

質問 楽ちんバスの利用が好調のようだが、須賀川線について旧長電バスの時はどうだったのか。

回答 1日当たり一桁だったと思う。だから長電が撤退した。今利用者が伸びているのは、運賃が無料というのが大きい。10月から有料になるが、地域の声も聴きながら料金を考えていかなければならない。楽ちんバスをどう守っていくかが、今後の大きな課題。

質問 軽トラでリンゴを運んでいるとき、後ろから煽^{あお}られた。スピード速すぎるのでは。

回答 アンケートにも「速い」との指摘があり、総務課には伝えてある。その辺は運転手さんにも伝わっていると思う。

質問 必要だったら人は乗る。採算が合わなかったらどうなるのか。

回答 有料としたとき、適正な料金をどう設定するかこれからだが、廃止とならないように検討しなければならない。

質問 高齢者や低所得者など対象の無料パス発行とか、町も適正な負担を考えるべきではないか。

回答 福祉乗物補助券給付事業があり、これを変える考えは今のところ町にはない。全くの無料運行はできないと思う。運行ルートも含め、適正な運賃を探っていく1年間だと思う。

質問 よその議会が傍聴に来ることはどんな意味があるのか。

回答 勉強になる、また勉強したい、ということだと思う。